

「好き」を活かして地域に貢献

民泊&CAFÉ 星の宿り

前田 一光さん(頼原)

古民家との出会いと民泊を始めた理由は？

高校を卒業して飯南町を離れましたが、いつか戻って地元で貢献したいと思っていました。

役場の紹介でこの家を訪れたときに「広くて落ち着く



星の宿りからの夜空



お客様をもてなすオーナーの前田さん

い家だな」と感じました。夜にもう一度訪れると、街灯がなく見たこともないほど真っ暗で、虫が飛び交う自然と満天の星に感動しました。

私は人と話をすることが好きです。これを活かして民泊のお客様に島根県や飯南町の紹介をして旅行を楽しんでいただき、飯南町のファンを増やしたいと思いました。県外から戻ってきた飯南町出身者なので、旅行者と町民の両方の気持ちが変わります。町民にとってははなげない日常でも、旅行者にとっては貴重な体験だったりします。町民の方の感覚と旅行者の目線の両方を

持っていることが私の強みです。

蔵があったので、町民の憩いの場にしていただきたという思いから、カフェに改装しました。皆さんと話しができて本当に楽しいです。

星の宿りのおすすめは？

お客様を愛犬の散歩にお誘いしています。散歩をしていると地元の方が畑や田んぼに話したり、挨拶をしたり話したり。町民の皆さんは、お客様に温かく、方言交じりで会話をされますので、お客様はとても楽しんでおられます。

「蔵カフェ」は、ごぜんまりと



歴史を感じる古民家

した雰囲気、誰もがのんびりできる場所にしたと思っています。ランチの後のカフェタイムは、楽しい会話で笑い声が絶えません。



家をささえる大黒柱

これからやりたいことは？

飯南町は宿泊施設が少ないため、時々予約が重なり断わることがあります。せっかく飯南町を訪れたい旅行者がもらえるのに、泊まる場所を提供できないのはもったいなく思います。一方で町内には空き家が増えていますので、空き家を活用した一棟貸しの民泊事業(空き家の持ち主と星の宿りの共同運営)ができたらいなと思っています。

募集

「明日を拓く」で取り上げてほしい会社や個人、団体、行事やイベントなどの情報をお寄せください。取材に伺います。議会報の表紙に使う写真の募集もあわせて行います。自薦他薦は問いません。皆様からのご応募をお待ちしています。

《応募先》飯南町議会事務局 0854-76-2190

今月の表紙写真



「みんなの知らないものを発見するのが好き。自分が体験したことは話ができるし、お客様も喜んでくださる。面白そうなところに入っていきのが好きで、道があると『どこにつながっているんだろう?』と探検して裏道を見つけるのも好き。時間帯や天気によって、同じ場所でも景色が変わるので、こんな時に行ったらどうなのかな?と見に行きたくなるんですよ」。少年のようなまなざしで話してくださった前田さんからは、この町への愛があふれていました。